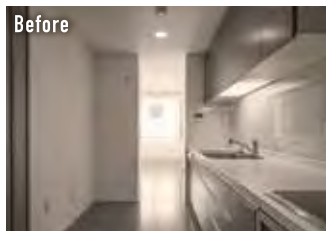
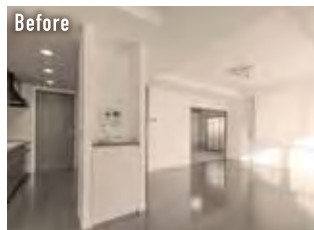




1



2



3

- 1/和室や壁をなくして生まれ変わったリビング。テレビ側の壁やボードを木にしたことで、シックでありながら温かみを感じるオトナ空間に仕上がっています。
- 2/端正な表情のオープンキッチン。揃えがちなキャビネットとシステムキッチンの色をあえて変えたことで、美しいコントラストが生まれました。
- 3/お気に入りのこの椅子に座って朝食をとるのが毎日の決まり。繊細なラインが美しいスタンドは、一目惚れだったそう。

「これまで」と「これから」が交差する心豊かな暮らし。

[大阪府大阪市] S様邸

リノベーションのきっかけで多いのが、家族構成の変化です。今回ご紹介する住まいも、お子さまの独立後に全面的にリノベーション。そこには、これまで積み重ねてきた家族や友人たちとの時間と、これから積み重ねていく自分らしい時間が交差する、心豊かな暮らしがありました。



**大人と子どもが
お互いの存在を感じながら
安心して過ごせるLDKを。**



都心とは思えない穏やかな空気が流れるS様邸。家族構成の変化がきっかけだったというリノベーションは、LDKの開放感を高めて伸びやかな住まいへと変化させることを中心に進められました。二人の娘さんのご家族がどちらもすぐ近くに住まわれている「近居」スタイルで、そのことがプランを検討する上で大きなポイントになったと言われます。

「以前の間取りは独立型のキッチン、リビングダイニング、和室と細かく分かれていたので、よく遊びに来る幼い孫たちがどこで何をしているか、分かりにくかったです。そこで、空間全体を見渡せるLDKにすれば、お互いの姿が自然に視野に入って安心で、ゆとりを持って過ごせるだろうと考えました」

**年齢を重ねることで
変化する
住まいの心地や。**

大まかなイメージはあるものの、それをどう実現するかについては、「知識も経験も豊富な建築士やインテリアコーディネーター、そして営業担当の方と何度も打ち合わせをして、いろんな提案をいただきました」

そこに、「自身の「今」と「これから」という視点をプラスしたことがS様邸ならではの魅力となっています。「たとえば若い頃は真っ白い壁が素敵だと思っていましたが、「こ」は日差しがよく入って光が反射するので、今の私にはちょっと眩しく感じます。そこで、できるだけ光がやわらかくまわるよう、落ち着いた風合いの紙のクロスにしました」

ダイニングの照明に関しても、「勤めてくださったものはとてもゴージャスで、心がときめきました。でも、これから5年先、10年先、家の中で過ごす時間が今よりも長くなってきた時にどうだろう...と。そう考えて、シックなデザインのものを選びました」

何を心地よいと感じるか、わが家でどんな時間を過ごすかは、年齢とともに変化します。それは、いつかリノベーションを、と考えている方々への大きなヒントとなりそうです。

「でも、友人たちが褒めてくれるのは、プロの方が提案してくださったところが多いんです(笑)」

プロセスに「マネ」 リノベーションの楽しさが。

LDKだけでなく玄関や寝室、水回りの設備なども変更されていますが、以前の住まいにとくに不満はなかったとのこと。

「ただ、何回かに分けてするよりも、できる時にできることをすべてしておこうと。間取りは変えていないところもあります。設備や内装に関しては一新してください」とお願いしました」

プランの打ち合わせが本格的にスタートして工事が完了するまで、約4カ月半。ドアノブなどの細かいパーツもカタログではなくショールームで実物を確かめながら選ばれたとか。「大変だな…」と感じたことはなかったでしょうか。

「捉え方次第だと思います。出来上がったらそれで終わりですが、どれにしようかあれこれ考えたり、プロの方々の意見を伺ったり、そのプロセス自体が有意義で、わたしにとってはむしろ楽しい時間でした」

エピソードが集まってできた 「わたしの家」

確かな審美眼で選び抜かれた家具や照明、調度品の数々。「こんなものが欲しい」と探し求めるよりも、旅先や店先でたまたま出会ったもののほうが多く、その一つひとつに家族や友人たちとの思い出が詰まっているそうです。

「何もかも新しくなったのに自然と馴染むことができたのは、これまでのいろんな

エピソードがここに集まっているから。『わたしの家』だ、と幸せで温かい気持ちになります」

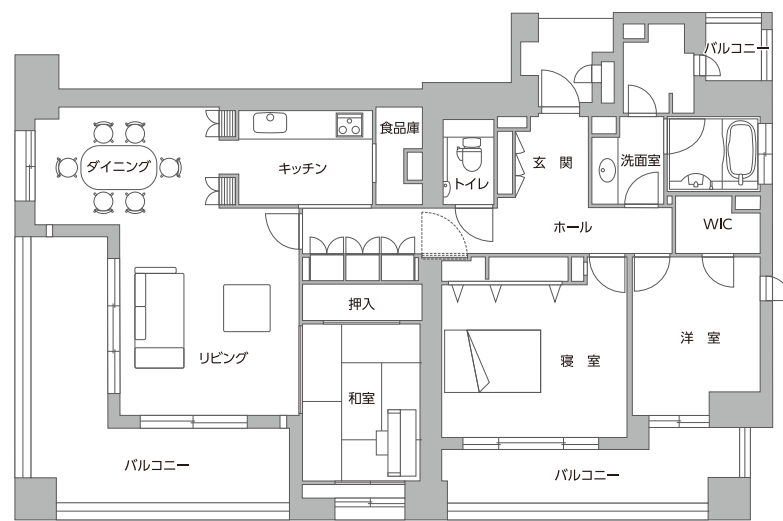
初めて訪れた娘さんたちの第一声も、「お母さんの家だね」

「お母さんの家だね」

だったとか。その言葉が、S様邸のリノベーションのすべてを物語っている気がします。

これからどんなエピソードが加わるのか、ますます楽しみです様邸でした。

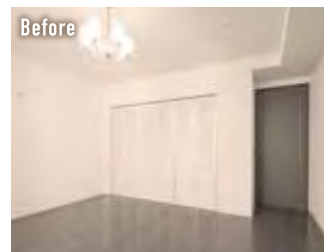
*



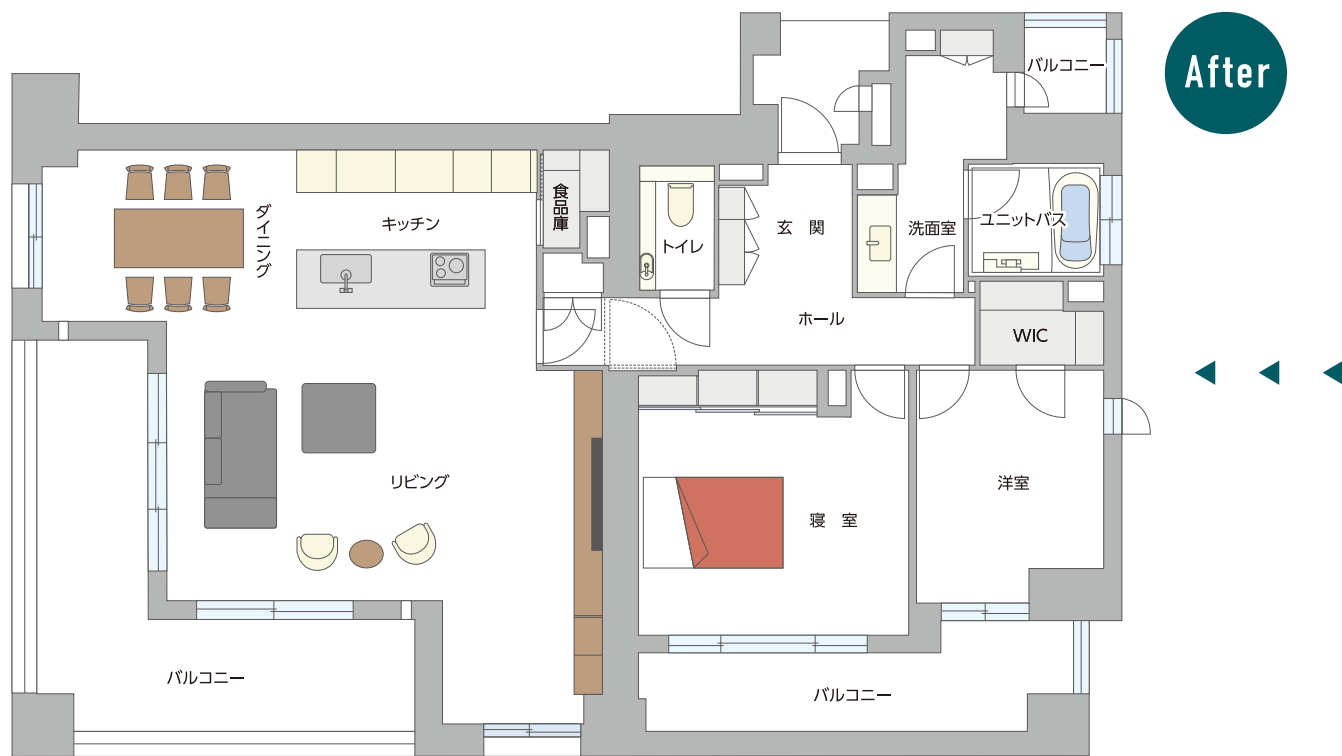
Before



寝室は厚みのある床材に。「お風呂上がり」に素足で歩くと、なんとも言えず気持ちいいんです」



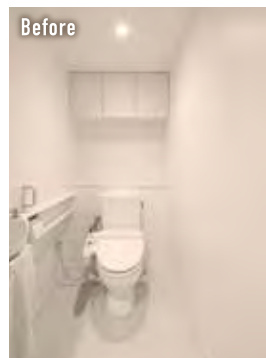
LDKの落ち着いたイメージに合わせて、玄関ホールの床や壁もすべて刷新。



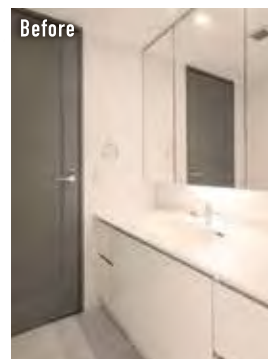
After

今回のリノベーションで、床暖房を増設。暖かいだけでなく、空気の対流が少ないため埃が舞いにくいとか。「家事のストレスが減ると、豊かな気持ちで過ごすことができるものです」

使い勝手の良さはもちろん、細部のデザインにもこだわった水回りの設備。



トイレの水栓は、お孫さんの意見で自動に。誰もが使いやすい衛生面でも安心です。



Point 「ビルトイン冷蔵庫」

電子レンジや炊飯器など小型のキッチン家電を見えないように収納することは比較的簡単ですが、悩ましいのが冷蔵庫。そこで、キャビネットと一体化したビルトイン式にすることで、スタイリッシュで使い勝手の良いオープンキッチンを実現しました。

